

のびのび学習だより



学力をのびすために



「全国学力・学習状況調査」が4月18日(木)に全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われ、本校でも6年生が参加しました。本校の平均正答率は、国語・算数共に全国と「おおむね同じ」結果でした。結果を分析して、課題に応じて改善し指導していきます。

(1) 国語

読み手などの相手を意識した説明・発表を行うことができていないことや、目的に応じて複数の資料から必要な情報を取り出して整理し、自分の考えをまとめることや、複数の資料から条件を整理することに課題がみられました。様々な学習の中で、相手や目的に応じて、情報をまとめたり分類したりする活動を取り入れる、学習の振り返りを自分の言葉で表現して書くなどの言語活動を設定していきます。

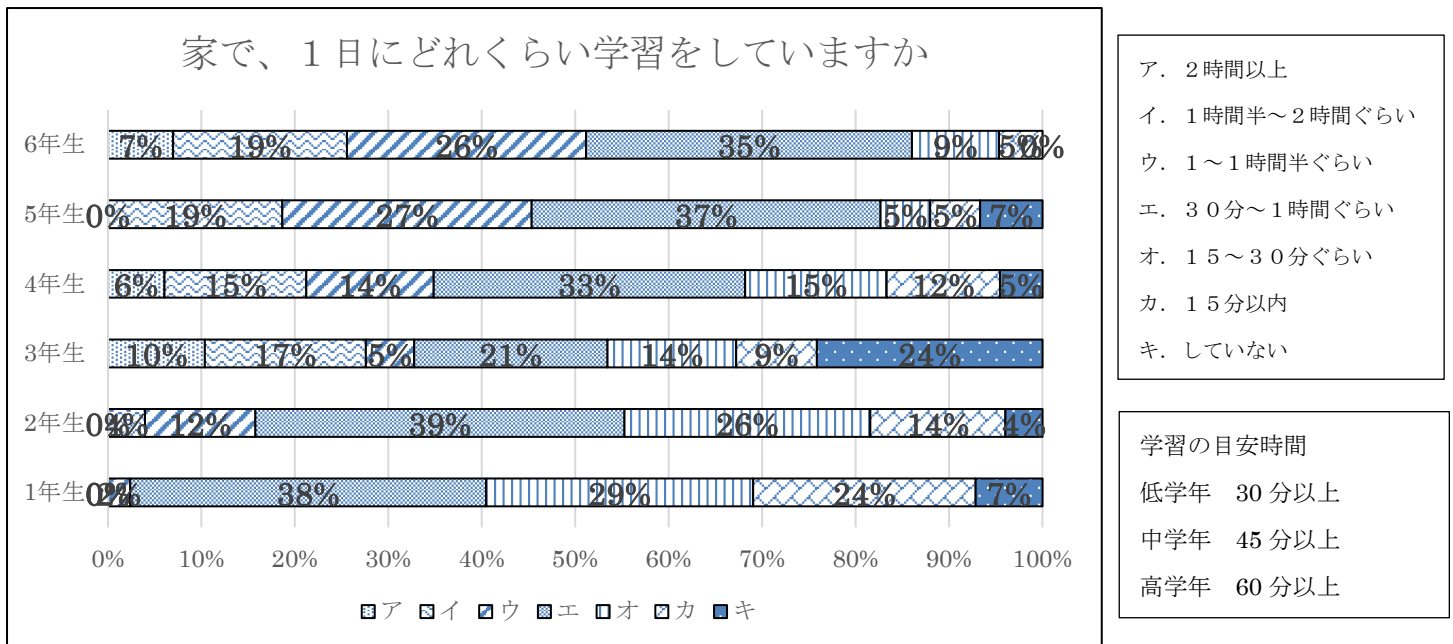
(2) 算数

多くの情報の中から必要な情報を選び出して(取捨選択する)問題を解くことや、図形に関する基礎的な概念や性質の理解を深めることについてが不十分な傾向がありました。

基礎基本を徹底するとともに、答えを出した根拠や理由を説明したり書いたり、表現したりする学習活動の場を増やしていきます。

家庭学習の時間を充実したものに

1学期末に全校児童対象に実施した「生活アンケート」の中から「家庭学習」の項目についてお知らせします。各学年ごとの特徴を見て、学年や学級での指導や個別の指導をしています。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。



- ・低学年では、めあてである30分以上の家庭学習ができている児童は、約48%
- ・中学年では、30分以上家庭学習ができている児童は、約61%、1時間以上学習できている児童は、約34%
- ・高学年では、めあてである60分以上家庭学習ができている児童は、約49%

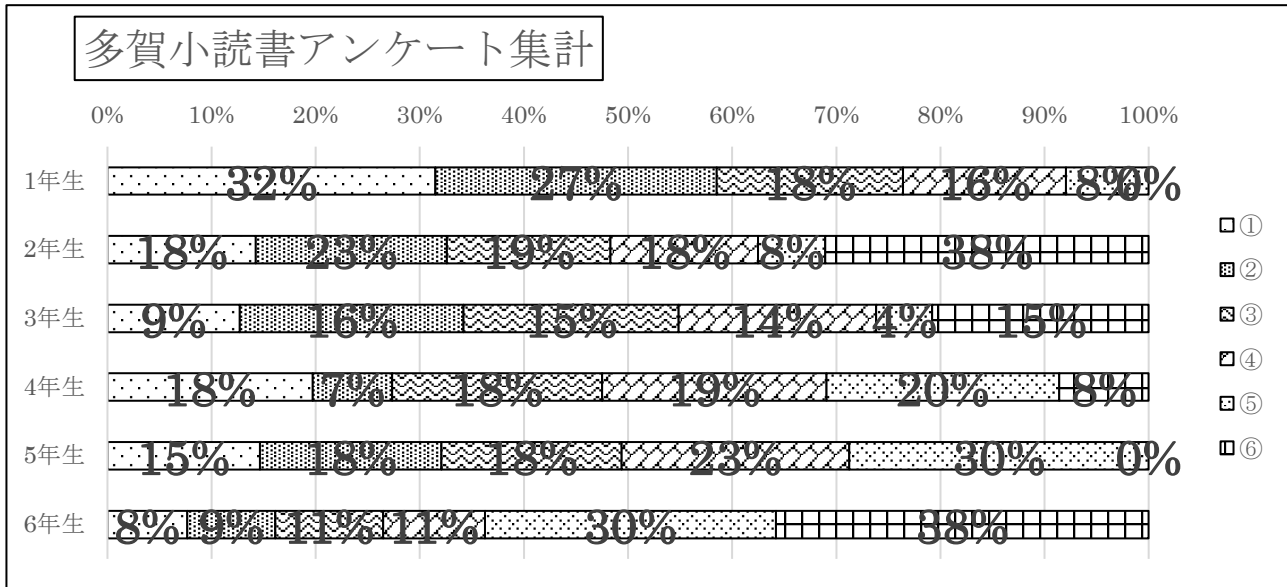
☆家庭学習の見取りに努め、児童に達成感を持たせるようにすることで、宿題への取組意識を高めていきます。目安の学習時間が達成できるように、自主学習の取組についても、ノートを紹介するなど意欲を高められるようにしていきます。



夏休み親子読書の取組



夏休みには、お忙しい中、親子読書の取組にご協力いただきありがとうございました。多賀小学校の集計結果をお知らせいたします。



- 1. 親子で一緒に読書タイム
- 2. 親から子どもに読み聞かせ
- 3. 子どもから親に読み聞かせ
- 4. 子どもと親が交互に読みっこ
- 5. 親子で同じ本を読んで、感想の交流
- 6. その他

【保護者の皆さまからの感想】（一部抜粋） 多数の感想をいただきありがとうございました。

低学年

- ・もっと色々な本を読んでみたいと、本に対する視野が広がったように感じました。
- ・小学生になって文章もスラスラ読めるようになって成長を感じながら読書できました。
- ・読み聞かせはよくしますが、親子で読み合う事はしないので、よい機会だったと思います。親子でほっこりする時間を過ごせました。テレビも何もついていない静かな空間の読書普段より子どもと近くで会話できました。
- ・意味のわからない言葉は「これどういうこと？」と質問しながら聞いていました。

中学年

- ・交互に読んでいき読み終わった後にお互い感想を言い合いました。感想を言い合う事で思った事、感じた子どもをシェアできて良かったです。とても心地よい時間でしたので、又読んで欲しいです。
- ・親子で登場人物になりきって読み合いました。最近一人で読むことが増えてきたので読み聞かせる機会が減ってききましたが、お互い読み合って楽しい時間が過ごせました。
- ・親子で好きな本を読んで感想を言い合います。暑い夏なので、休日の過ごし方にはピッタリでした。
- ・天究館で星を見に行き、いろんな星を覚えているので本を読んで更に理解を深めているようでした。
- ・子どもに読んでもらいました。すごく上手でビックリしました。途中であらすじをどうなるか予想してみても言われ、ワクワクして楽しい時間でした。

高学年

- ・寝る前に読書タイムを設けました。親子でコミュニケーションを取れるいい時間になりました。これからも続けたいです。照れながらも読んでくれて、感想を言い合いました。
- ・互いのおすすめの本の感想を言い、それに対する質問をするなど電子書籍より本の方が読みやすく自分の記憶に残るんだなあと話していました。
- ・親子読書の本を図書館で探しに行きました。ちょうど8月は原爆の日、終戦記念日を迎えるので、戦争や原爆の悲惨さや被爆者さんの体験についても一度詳しく知りたいと思い、この本を選びました。子どもも怖いことがあったんやね、と衝撃を受けていました。本を読んだり、調べたりする事で、戦争の恐ろしさについて少しでも関心をもって考えてくれたらよいなと思います。

☆今後もこの取組をきっかけとして、メディアばかりではなく、本に親しむ時間・親子の触れ合いの時間を作っていただければと考えています。ご協力ありがとうございました。